

美星スペースガードセンター の現状報告

奥村真一郎
(日本スペースガード協会)

美星スペースガードセンター

美星天文台
(井原市の公共天文台)



美星スペースガードセンター

- ・ 建設

日本スペースガード協会(JSGA)

日本宇宙フォーラム(JSF)

NASDA(現JAXA)

の三者の協力により、岡山県美星町に2000年に建設した
小惑星とスペースデブリの専用観測施設

美星スペースガードセンター

- ・ 運用体制（昨年度まで）

施設（建物、望遠鏡、ドーム、装置など）は**JSF**が管理、**JAXA**から観測業務を受託し、**JSGA**の職員6名が観測業務に従事。

JAXA

↓（業務委託）

JSF

↓（業務委託(孫請け)）

JSGA

美星スペースガードセンター

- 所有者の変更

JSF → **JAXA** に施設移管 (2017年4月)

JAXA

↓ (業務委託)

JSF

↓ (業務委託(孫請け))

JSGA

- ・ 移行期間の暫定措置として今年度は以下のような運用

JAXA

↓ (業務委託)

JSF

↓ (業務委託(孫請け))

JSGA

来年度以降の運用体制は不透明

施設管理上の変化

- 入退室者の管理
→ あらかじめ申請し、許可を得た者のみ入所可
- 場所によっては特に厳重なセキュリティ
→ PC、USBメモリ、カメラ、携帯電話などの持ち込み禁止
- 室内数ヶ所に監視カメラ設置予定

観測・研究・教育活動への影響

- 自由な発想による観測はしづらい
- 小惑星、人工天体であれば理由付けは可能
それ以外の天体の観測は難しい
(持ち主(JAXA)に申請、許可を得れば不可能ではない)
- 観測データは施設管理者(JAXA)所有
- 教育イベントに大きく影響



まとめ

- 今年度より美星スペースガードセンターの管理者（所有者）がJSFからJAXAに
- 運用体制（JAXAからの受託業務の流れ）は暫定的に今まで通り（来年度以降は不明）
- 様々な面で管理が強化の方向
- 観測・研究・教育活動に影響はあるが何とか継続できるように務める